

労働時間アンケート

整理番号

事業場の名称	事業の種類			
所在地	代表者職氏名			
	回答者職氏名 (印)			
労働者数	事業場 計	人	女	人
所属集団の名称	企業全体 計			人
記入年月日 平成 年 月 日				

(労働時間制度) (注) 労働者の種類によって労働時間制度が異なる場合は、最も適用労働者数が多いものを記入してください。

1 あなたの事業場の現在の週休制度は、どのようになっていますか。

- イ 週休1日制
 - ロ 週休1日半制
 - ハ 週休2日制
 - ニ その他
- (a) 4週5休 b 4週6休 c 4週7休 d 4週8休以上

(注) 「その他」は、交替制勤務等によって休日数が週を単位として定められていない場合等が該当します。

2 あなたの事業場の本年(度)の年間休日数は、何日ですか。

日

(注) 年間休日数とは、裏面のA「週休日」及びB「週休日以外の休日」(国民の祝日等)の合計日数をいいます。

3 あなたの事業場の現在の所定労働時間は何時間ですか。

- ① 1日の所定労働時間 [日によって異なる場合には]
- ② 1週の所定労働時間 [変形労働時間制を採用している場合には]

時間	分
時間	分

(注) 変形期間の週平均所定労働時間 = 変形期間の所定労働時間 × $\frac{7}{\text{変形期間の暦日数}}$

4 あなたの事業場の昨年(度)の労働者1人当たりの

時間	分
----	---

1か月間の平均所定外労働時間は何時間でしたか。

5 あなたの事業場の昨年(度)1年間の労働者1人平均の年次有給休暇の取

日

得日数及び取得率はどのくらいでしたか(繰越日数を除く)。

取得日数

※取得率 = (取得日数 ÷ 付与日数) × 100%

約	%
---	---

取得率

6 あなたの事業場の昨年(度)1年間の労働者1人平均の

時間	分
----	---

年間総実労働時間は何時間でしたか。(裏面G)

7 あなたの事業場では、変形労働時間制等を導入していますか。

- ① 1箇月単位の変形労働時間制 イ 導入している ロ 導入を考えている ハ 導入は考えていない
- ② 1年単位の変形労働時間制 イ 導入している ロ 導入を考えている ハ 導入は考えていない
- ③ 1週間単位の非定型的変形労働時間制 イ 導入している ロ 導入を考えている ハ 導入は考えていない
- ④ フレックスタイム制 イ 導入している ロ 導入を考えている ハ 導入は考えていない
- ⑤ 専門業務型裁量労働制 イ 導入している ロ 導入を考えている ハ 導入は考えていない
- ⑥ 企画業務型裁量労働制 イ 導入している ロ 導入を考えている ハ 導入は考えていない

8 あなたの事業場において平成17年度中に総実労働時間を短縮する予定はありますか。

- イ ある ロ ない

(労働時間短縮についてのご意見等)

- 9 あなたの事業場が今後労働時間短縮を行う場合、問題点はどこにあると思いますか。(複数回答可)
- イ 同業他社が同一步調を取るかどうか ロ 関連企業・取引先の理解と協力が得られるかどうか
 - ハ 人件費コストの上昇を吸収できるかどうか ニ 生産量・売上高を確保できるかどうか
 - ホ 労働組合や従業員の理解と協力が得られるかどうか ヘ 現在の経営状態が改善されるかどうか
 - ト その他 ()

10 その他労働時間短縮についてご意見がありましたらご記入願います。

()

11 労働時間短縮について、個別指導を希望されますか (イ 希望する ロ 希望しない)

(イ ロ)

12 委託している社会保険労務士の有無 (イ 有 (氏名 ロ 無)

(イ ロ)

(年間総実労働時間の計算等は、裏面を参照してください。)

中小様式第 1 1 号裏面

あなたの事業場の労働時間はどのようですか？

週休日	週休日以外の休日	週休日以外の休日数
4月 日	みどりの日	日
5月 日	憲法記念日、国民の休日、こどもの日	日
6月 日		日
7月 日	海の日	日
8月 日	夏休み(日)	日
9月 日	敬老の日、秋分の日	日
10月 日	体育の日	日
11月 日	文化の日、勤労感謝の日	日
12月 日	天皇誕生日、年末休み(日)	日
1月 日	元日、年始休み(日)、成人の日	日
2月 日	建国記念の日	日
3月 日	春分の日	日
合計 A		B

365日 - 日 = 日 (年間所定労働日数)

あなたの会社の年間休日日数(A+B)

$$\underbrace{\left[\begin{array}{l} \text{C} \\ \text{年間所定労働日数} \end{array} \right]}_{\text{年間所定労働日数}} \times \underbrace{\left[\begin{array}{l} \text{D (表面 3 ①)} \\ \text{1日の所定労働時間} \end{array} \right]}_{\text{1日の所定労働時間}} = \underbrace{\left[\begin{array}{l} \text{時間} \div (365 \text{日} \div 7) = \text{時間} \\ \text{会社の1週間当たりの所定労働時間} \end{array} \right]}_{\text{会社の1週間当たりの所定労働時間}}$$

$$\underbrace{\left[\begin{array}{l} \text{E} \\ \text{年間所定労働時間} \end{array} \right]}_{\text{年間所定労働時間}} + \underbrace{\left[\begin{array}{l} \text{時間} \\ \text{1人当たりの年間所定外労働時間} \end{array} \right]}_{\text{1人当たりの年間所定外労働時間}} - \underbrace{\left[\begin{array}{l} \text{時間} + \text{時間} \\ \text{年次有給休暇取得による労働時間} \quad \text{1人当たりの年間の欠勤、遅刻、早退等による欠勤労働時間} \end{array} \right]}_{\text{年次有給休暇取得による労働時間}} = \underbrace{\left[\begin{array}{l} \text{時間} \\ \text{1人当たりの平均年次有給休暇取得日数} \times \text{1日の所定労働時間} \end{array} \right]}_{\text{1人当たりの平均年次有給休暇取得日数}}$$

= 時間 (年間総実労働時間)